

(2) 配水池の能力

上水道事業における配水池の整備状況を見ると、令和2年度末は総数 822 池、総有効容量 2,350 千 m^3 である（表-6）。

配水池貯留能力は、給水に対する安定性を示す指標の一つであり、令和2年度末は、0.79 日である。

表-6 配水池容量（上水道）

区 分	池 数（池）	有 効 容 量（千 m^3 ）	配水池貯留能力（日）※
大 阪 市	52	666	0.61
大阪市を除く市町村	770	1,684	0.90
府 計	822	2,350	0.79

※配水池貯留能力（日）＝ 有効容量（ m^3 ） / 一日平均配水量（ m^3 /日）

(3) 配水管

令和2年度末における上水道事業の配水管総延長は 23,350.4 kmであり、配水管容量は 939 千 m^3 で、令和元年度末に比べ配水管延長、配水管容量ともに 0.2%の増加となっている（表-7）。

表-7 配水管延長と容量（上水道）

区 分	配水管延長 (m)	配水管容量 (m^3)	現在給水人口	給水可能面積
			1人当り容量 (L)	1ha当り容量 (L)
大 阪 市	5,126,715	469,888	171	20,854
大阪市を除く市町村	18,223,668	469,198	78	4,266
府 計	23,350,383	939,086	107	7,086